

# 従軍看護婦の見た病院船・ヒロシマ

11月1日でテロ特措法の期限が切れ、インド洋で米艦船などに給油していた自衛艦が帰国の途につきました。2001年9月の同時多発テロにたいし、アメリカはアフガニスタンへの報復戦争をはじめ、この結果、何万人もの一般市民が殺され、傷つき、アフガン国土も荒廃がすすんでいます。この報復戦争の一部である海上阻止作戦で給油を担当していたのが、自衛艦です。イラク攻撃にも使われていました。自衛隊の給油した油が人々を殺傷する作戦に使われていたのです。

これを再開したい自民・公明両党は、11月13日に新テロ特措法案の採決を強行し、衆院を通過させました。しかし参院では反対が多数派で、成立のメドはたっていません。

そのような情勢の中、まもなく、12月8日太平洋戦争勃発の日がやって来ます。今年もまた、平和の学習をしましょう。

【日時】 2007年12月7日(金) 18:30 ~

【会場】 手代木公民館和室

【講演】 「従軍看護婦の見た病院船・ヒロシマ」

【講師】 守屋 ミサさん (元従軍看護婦)

【資料代】 500円

【プログラム】 18:00 ~ 受付  
18:30 ~ 開会・ごあいさつ  
18:35 ~ 講演  
19:30 ~ 質疑応答

20:00 ~ 閉会予定

## 守屋 ミサさんの経歴

- ・太平洋戦争開始の二ヶ月前から敗戦二年後まで病院船や内地に従軍看護婦として勤務。
- ・戦後、養護教諭として33年間勤務。
- ・「教え子を再び戦場におくらない」として平和教育と運動を実践。
- ・著書「従軍看護婦の見た病院船・ヒロシマ」



## 12.8不戦のつどい

「12.8不戦のつどい」について

12月8日は、第二次世界大戦中の1941年、日本が米、英、オランダ領を奇襲攻撃して太平洋戦争が、開始された日です。(第二次世界大戦が終了した時点でのおよそアジアで2,400万人、日本で310万人の命が失われました。)戦争を絶対に繰り返さないためにつくばでは、戦争体験を語り継ぎ、平和を守る活動を交流する「不戦のつどい」を毎年12月8日前後に開催してきました。

主催：12.8不戦のつどい実行委員会

(問い合わせ先：TEL. 029-861-7320 学研労協)

## 参加団体：

- 新日本婦人の会つくば支部
- つくば市母親連絡会
- 新しいつくばを創る市民の会
- 有事法制反対つくば実行委員会
- 原水爆禁止学園実行委員会
- 筑波研究学園都市平和委員会
- 憲法9条の会つくば
- 筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会(学研労協)

